

2020年10月13日
株式会社高島屋
東神開発株式会社

「流山おおたかの森駅」周辺エリア新規開発3施設の名称および 『流山おおたかの森 S・C ^{フラップス} FLAPS』(A3街区)のキーテナント決定のお知らせ

株式会社高島屋（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：村田善郎）の連結子会社である東神開発株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：倉本真祐、以下、東神開発）が推進する、つくばエクスプレス・東武アーバンパークライン「流山おおたかの森駅」周辺エリアの新規開発3施設の名称は、A3街区を『流山おおたかの森 S・C ^{フラップス} FLAPS』(以下、FLAPS)、B43街区を『流山おおたかの森 S・C ^{アネックスツツ} ANNEX2』、B45街区を『NAGAREYAMA おおたかの森 GARDENS アゼリアテラス』(※)に決定いたしました。あわせて『FLAPS』のキーテナント4店舗も決定しましたのでお知らせいたします。

東神開発は2004年から行政等の「街づくりパートナー」との共同で、「流山おおたかの森駅」周辺の開発事業を通じて、地域に密着したコミュニティ基盤の創造と、サステナブルな地域社会の実現に取り組んでいます。今回の3施設の開発事業では、「森のタウンセンター」を開発コンセプトに、『FLAPS』の面する駅前広場の整備を行うなど、駅を中心とした街の回遊性と界限性を強化いたします。

『FLAPS』においては、子育て世代からのニーズの高いキーテナントを誘致し、流山らしい自然体のライフスタイルを提案いたします。また3施設の電力を再生可能エネルギー由来の電力を100%使用するなど、サステナブルな地域社会への取り組みにより、新たな街の魅力を創造してまいります。

※街区名は、流山市の都市計画事業「新市街地地区一体型特定土地区画整備事業」によるものです。

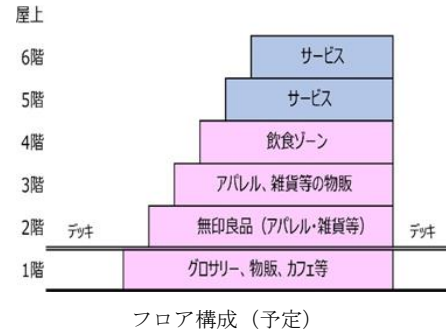


左：『流山おおたかの森 S・C FLAPS』(A3街区)、右上：『流山おおたかの森 S・C ANNEX2』(B43街区)
右下：『NAGAREYAMA おおたかの森 GARDENS アゼリアテラス』(B45街区)

■『流山おおたかの森 S・C FLAPS』（A3 街区）計画概要

『毎日に、「便利・遊び・楽しさ・にぎわい」を』をコンセプトに、遊びもつまった、「洗練された自然体の暮らし」を提案します。ファミリーが楽しめる専門店約30店舗を集積予定で、各フロアも子育て世代の暮らしに寄り添ったお店で構成いたします。また各階テラスには、樹木を配し、心地良い空間を創出します。

さらに、流山市が改修を進めている南口都市広場につながる施設として、広場には、緑化に加え、イベントが実施できるステージを新設するなど、地域との共生を一層高め、地域活性化につながる新たな賑わいを創造します。



敷地面積：2,900 m² 延床面積：約 11,300 m²

規模：地上6階・屋上階

設計・デザイン監修：株式会社マウントフジアーキテクトスタジオ一級建築士事務所

施工：株式会社フジタ

開業予定：2021年春



駅前広場イメージ

【フロア構成・キーテナント】

〔1階〕グロサリー、物販、カフェなど

Daily Table KINOKUNIYA（デイリーテーブルキノクニヤ）

業種：ベーカリーカフェ併設型グロサリーストア / 運営会社：株式会社紀ノ国屋

“～もっと毎日の暮らしに～”をコンセプトに、スーパーマーケット紀ノ国屋の新たな業態として首都圏に多数展開。毎日の食卓に活躍する、よりデイリーでスタンダードな商品、さらに簡単・便利で本格的な美味しさを味わえる商品を豊富に取り揃えます。

Daily Table
KINOKUNIYA

Flying Tiger Copenhagen（フライング タイガー コペンハーゲン）

業種：生活雑貨 / 運営会社：Zebra Japan 株式会社

ユーモアや色彩に富んだスκανジナビアンデザインのアイテムを通じて、驚きとエンターテインメントに溢れたショッピング・エクスペリエンスを提供する北欧デンマーク・コペンハーゲン発祥のファンライフスタイル雑貨ストアです。

flying tiger
copenhagen

〔2階〕ライフスタイル雑貨

無印良品（ムジルシリョウヒン）

業種：衣料品、生活雑貨、食品 / 運営会社：株式会社良品計画

着心地の良いウェアや、素材にこだわった食品。そして使い勝手を考えた、シンプルで機能的なステーションナリーや家具まで、くらしまわりのすべてが揃います。

無印良品

〔3階〕 アパレル・雑貨

子育てファミリーにうれしいライフスタイルに寄り添うアパレルのお店や、雑貨のお店が登場します。

〔4階〕 飲食ゾーン

「一人でゆったりしたい」、「ママ友とお茶をしたい」など利用される方のサードプレイスとなるような店舗で構成します。

〔5階〕 サービス

暮らしを豊かに彩るサービスフロアとして、お子様やママ向けにぴったりのサービスを拡充するようなお店が登場します。

〔6階〕 サービス

ボーンランドあそびのせかい（ボーンランドアソビノセカイ）

業種：あそび場（アミューズメント）、玩具 / 運営会社：株式会社よみうりランド

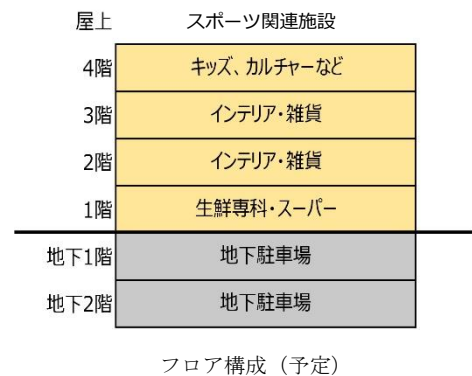
「あそぶことは生きること」をコンセプトに、親子の室内あそび場と世界のあそび道具のショップが併設された「ボーンランドあそびのせかい」は、子どもがのびのびと遊び育つ場を提供いたします。



■ 『流山おおたかの森 S・CANEX2（アネックスツア）』（B43 街区）計画概要

近隣にお住まいの方が毎日集うコミュニケーションモールとして、デイリーに使える機能とカルチャーやウエルネスなどを通じた地域コミュニティの場を提供。屋上には、スポーツが楽しめる関連施設も登場するなど、これまでにない機能を有した施設です。

敷地面積：4,100 m² 延床面積：約 20,500 m²
規模：地上 4 階・地下 2 階・屋上階
開業予定：2022 年夏



■ 『NAGAREYAMA おおたかの森 GARDENS アゼリアテラス』（B45 街区）計画概要

コロナ禍で、働く場所が変化する中、多様な働き方に対応できるオフィスと、3～4 階にはクリニック、健康などの機能を提供する複合ビルを開発。最上階には、オフィスの付加価値向上のため、風が抜けるような緑豊かな空間を設置予定です。

敷地面積：2,200 m² 延床面積：約 10,200 m²
規模：地上 10 階
開業予定：2021 年秋



【「流山おおたかの森駅」周辺エリア開発 MAP】



【ご参考】

■ 流山おおたかの森駅周辺エリアの街づくり

都市再生機構を施行者とする「新市街地地区一体型特定土地地区画整理事業」区域において、2004年夏に開発事業に着手し、2007年に、「流山おおたかの森S・C」を開業。以降、4つの施設開発を手掛け、現在は6つの施設の管理運営を行い、街の魅力や利便性向上に取り組んできました。長期的な視点による街づくり型開発により、住む人が誇りに思える地域に根差した街の発展に取り組んでいきます。

・ これまでの開発について

- 2004年夏 「新市街地地区一体型特定土地地区画整理事業」に着手
- 2007年3月 流山おおたかの森S・C（約140店舗）開業
- 2007年11月 TXグランドアベニューおおたかの森（13店舗）開業 ※2018年運営会社取得
- 2013年3月 NAGAREYAMA おおたかの森 GARDENS ハナミズキテラス（10店舗）開業
- 2014年3月 流山おおたかの森S・C ANNEX1（7店舗）開業
- 2015年4月 NAGAREYAMA おおたかの森 GARDENS こもればびテラス（4店舗）開業
- 2018年11月 こかげテラス（13店舗）開業

以上